

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 5 部門第 1 区分
【発行日】平成 17 年 7 月 28 日 (2005.7.28)

【公開番号】特開 2003-214121 (P2003-214121A)
【公開日】平成 15 年 7 月 30 日 (2003.7.30)
【出願番号】特願 2002-11774 (P2002-11774)
【国際特許分類第 7 版】

F 0 1 L 1/18

【F I】

F 0 1 L 1/18 H

F 0 1 L 1/18 M

【手続補正書】

【提出日】平成 16 年 12 月 22 日 (2004.12.22)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 3 2】

即ち、この連結板部 19 の幅方向両端部に設けた 1 対の側壁部 2 b、2 b を、前記ねじ孔 9 c の側方にまで延長しているので、上記連結板部 19 のうちでこのねじ孔 9 c を形成した部分の断面係数が大きくなり、上記アジャストねじ 10 から加わる大きなスラスト荷重やモーメント荷重に拘らず、上記連結板部 19 が変形するのを有効に防止できる。

更に、上記各側壁部 2 b、2 b の端縁 2 8、2 8 が、上記連結板部 19 と反対側に位置して上記ロックナット 26 の当接面となる、前記補助板部 20 の表面 27 よりも突出する事がないので、上記各側壁部 2 b、2 b が上記アジャストねじ 10 に螺合したロックナット 26 を緊締する際の妨げとなる事はない。即ち、このロックナット 26 の緊締時に、スパナやボックスレンチ等の工具の一部が、上記各側壁部 2 b、2 b の一部と干渉して、上記ロックナット 26 の緊締作業が不能若しくは面倒になる事はない。